

北前船主の集落

石川県・加賀市



北前船とは、江戸時代の後半から明治中期にかけて大阪と北海道を往復した日本海側の不定期便の商船のことで、米のみならず、海産物や農産物を運び当時の経済に大きな影響を与え、特に日本海側の各地には多大な財と文化をもたらした。

具体的には北海道からニシンを、関西からは生活物資を運び、立ち寄る日本海側の港で商いを繰り返しながら、船主たちは巨大な富を築きあげた。また1航海1千両とも云われ、船主の多くは北陸地方から輩出し、中でも加賀市橋立町は明治・大正時代「日本一の富豪村」と言われるほどその地域が栄え、船主のふる里として大いに賑わった。

北前船資料館は、明治11年に建てられた橋立町の旧北前船主酒谷家邸を、加賀市が昭和57年11月に譲り受けその一部を改修し、全国でも珍しい北前船の専門資料館として現在、一般に公開されている。広い邸内には貴重で珍しい資料がたくさん展示され、解説パネルやビデオで何方でもわかりやすく一般者の見学も出来る。

橋立は2005年10月28日、北前船主の集落として国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

TOPICS

- ・港町橋立に関連するイベント開催
毎年、開催時期、イベント内容が異なりますので、下記の問い合わせ先で確認して下さい。

お問い合わせ先

加賀市観光情報センターKAGA旅まちネット

TEL / 0761-72-6678

URL / <http://www.tabimati.net/>

【交通】

バス / JR加賀温泉駅から約10分

